



ルルブル通信

発行日 平成22年12月20日

発行元 みやぎっ子ルルブル

推進会議事務局

(宮城県教育庁教育企画室)

(022)211-3616



ルルブル君

みやぎっ子ルルブル推進会議総会を開催しました

平成22年11月22日(月)に、宮城県行政庁舎講堂において、「みやぎっ子ルルブル推進会議総会」を開催しました。当日は、約160名の方々に御出席いただきました。

はじめに、子どもの生活習慣確立に向け優れた取組を行った17団体を表彰しました。

【保育所・幼稚園部門】

登米市立つやま幼稚園 学校法人木村学園みやぎ幼稚園

【小学校・中学校部門】

丸森町立丸森小学校 亘理町立逢隈小学校
 色麻町立色麻小学校 色麻町立清水小学校
 加美町立宮崎小学校 栗原市立鳥矢崎小学校
 登米市立浅水小学校 気仙沼市立馬籠小学校
 仙台市立燕沢小学校 仙台市立川前小学校
 色麻町立色麻中学校 登米市立石越中学校
 石巻市立飯野川中学校 仙台市立住吉台中学校

【企業・団体部門】

株式会社仙台水産

(各園・学校・企業の取組については、教育企画室HPを御覧ください。)

<http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/kihonteki/suisinkaigi.htm>



次に、当会議顧問の川島隆太東北大学加齢医学研究所教授から、今年度作成したパンフレット「明日のキミはキミがつくる!」について、最新研究データに基づき「しっかり寝る・きちんと食べる・よく遊ぶ」ことの大切さを詳しくご説明していただきました。

続いて、栗木一博仙台大学教授から「からだを動かすってこんなにおもしろい!」と題して、体を動かすことの大切さや、スポーツを通じて学ぶこと、そしてスポーツの価値などについて、日本オリンピック委員会情報・医・科学専門委員会科学サポート部会委員としてご活躍されている視点から講演をいただきました。

その後、今回受賞した団体を代表して、つやま幼稚園 鈴木園長、丸森小学校 吉田教諭、馬籠小学校 須藤校長、色麻中学校 長澤教頭、(株)仙台水産 廣澤部長から、家庭・地域との連携や体験活動の様子などについて事例発表をしていただき、副会長の師研也宮城県学校保健会会長と、栗木一博仙台大学教授からコメントをいただきました。

最後に、副会長の小平英俊宮城県PTA連合会会長から、ルルブル推進会議総会が一つのきっかけとなり、子どもの生活習慣の確立に向けて、社会全体での取組が一層進んでいくことを心から願っていますとのあいさつがありました。



川島教授から一言！

子どもの健やかな成長に必要なポイントの一つである「よく遊[?]」について、顧問の川島隆太東北大学教授のアドバイスをご紹介します。



「親子で一緒に体験活動をしよう！」

- 「前頭前野」についてご存知ですか。記憶や感情の制御、行動の抑制、他者とのコミュニケーション、意欲・集中力など、さまざまな高度な精神活動を司っている、脳の中の脳とも呼ばれている重要な場所です。
- 親子関係が子どもの脳にどのような影響を与えるかという実験を行ったところ、例えば、母親と子どもがちゃんと目を見ながら会話をして一緒に料理を作るといった共同作業をすると、子どもの前頭前野のいろいろな場所に強い反応が出るという結果が出ました。
- さらに、作業をしてうまくできたその瞬間にほめる声掛けをする（「即時フィードバック」といわれています。）と、前頭前野により強い刺激を与えることが実験で分かっており、そうした活動を継続的に行えば子どもたちはより豊かな脳を持つことになると考えています。
- 休みの日などは料理やスポーツなど、親子で一緒にできる活動をしてください。そして、うまくできたときは即時に「できたね、すごいね！」などと一言ほめてください。大事な前頭前野のトレーニングになります。

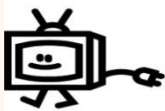


取り組んでいます！ルルブル！

今回は、今年度みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体として表彰された「登米市立つやま幼稚園」と「丸森町立丸森小学校」の主な活動内容や成果などをご紹介します。

■ 登米市立つやま幼稚園

- ▶ 食事に関するテーマで親子一緒に参加するコンサートを開いたり、「4人のげんきっず」というお話をもとにバランスのよい食事をする大切さを指導し、望ましい食習慣を身に付けさせるよう取り組みました。食生活について各家庭に関心を持たせることができました。
- ▶ 虫歯対策に関心の高い地区であるため、地域の歯科医との連携により、年数回の歯みがき教室を実施しました。食べたら磨く習慣を幼児期から身に付けさせることができ、虫歯予防に対する意識の高揚にもつながっています。
- ▶ 登米市教育委員会津山教育事務所管内の全幼・小・中学校において、毎月1日を「ノーテレビ・ノーゲームデー」と制定し、各家庭に働きかけました。家族の協力体制が強まり、園児自身が意識するようになりました。親子の触れあう時間が増えたり、早寝早起きができるようになったなど、生活習慣の改善につながっています。



■ 丸森町立丸森小学校

- ▶ 栄養教諭が授業に入り、学級担任とともに、専門的な見地から栄養面、健康面などについて分かりやすい指導を児童に対して行いました。栄養バランスを意識しながら食事ができる児童が増え、給食の残飯が減少しました。
- ▶ ボランティアや地域の皆さんによる「食農応援隊」の御指導・御協力をいただきながら、全学年で作物栽培体験を行いました。生産者の苦勞や食べ物の大切さを学ぶとともに、感謝の気持ちや地域の人々とのつながりを深めることができました。
- ▶ このような取組については、食育だよりを通じて家庭と地域に発信しています。また、児童が栽培した作物は、参観日に自分たちで調理して保護者に試食してもらうなど、家庭における食育意識の高揚にもつながっています。

- みやぎっ子ルルブル推進会議では、会議の趣旨にご賛同いただける登録会員を募集しております。詳しくは、下記HP掲載の会議規約をご確認の上、登録書様式によりお申し込みください。
- ルルブルに関する取組事例や情報等がありましたら、下記までご連絡ください。



担当：みやぎっ子ルルブル推進会議事務局（宮城県教育庁教育企画室）

☎：(022)211-3616 ✉：kyoikupp@pref.miyagi.jp

URL：http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/kihonteki/suisinkaigi.htm